

昭和六年七月六日

労働者縮小問題と大演説會

●十二月一日午後六時 (入場料參拾錢)
●下山手通六丁目 青年會館

▽聞 け!!!

新聞報課

軍備制限は吾等は心から讚美し吾等其全廢を叫ぶのであります。然し軍備が制限縮小されるれば造船界は勿論其他の工業界は此過度期に必ず混亂するであらう。ワシントン會議の報一度は傳へられるや多數の労働者はそれに伴ふ解雇を慮ばかりで最近戦々恟々としてゐる。そうして早くも同僚間には解雇手當等の問題について論議しつゝある者もある。

これによつて、もし此上に多數の解雇職工が續出すると假定したならば、其時は政府や資本家等に斯ふいふ態度を示さねばならないといふ事を足元から火が燃へあがらない以前に考へておく必要があると思ひます。

此の大きな死活問題を眞の労働者の立場から相談致しませう!!!

辯士

- 賀川豊彦氏
- 高山義三氏
- 其他
- 岡 成志氏
- 久留弘三氏
- 労働者數名

主催者労働新新聞社

(昭和六年七月)

○各地の和回信義、有志者、あふ寛、堀井、其世ノニニナレノ大杉業一振及心博林川一振、主、義者、居リ、時、漁、迄、多、ヲ、備、備、又、難、説、行、多、等、ヲ、共、行、シ、居、ル、レ、カ、本、回、一、以、得、新、分、此、以、心、不、獲、宜、得、ビ、ラ、ニ、同、僚、ヲ、平、北、キ、ト、登、答、方、面、ニ、ラ、ハ、ニ、ラ、ク、。